

KSK

川崎市障害者社会参加
推進センター通信

編集人 川崎市障害者社会参加推進センター
 所長 中込 義昌
 編集責任者 広報・啓発委員会
 委員長 澤藤 充教
 〒210-0834 川崎区大島 1-8-6
 川崎市南部身体障害者福祉会館内
 電話 044-246-6941
 F A X 044-246-6943
 Email zksk@nifty.com
 http://kawashinkyo.org

平成 26 年度 川崎市身体障害者福祉大会が開催されました

～ 障害者が安心して地域で暮らせる共生社会を目指そう ～



平成 26 年 7 月 6 日 (日) 13 時 30 分から高津市民館 12 階大会議室にて、川崎市身体障害者福祉大会が、2 部構成で開催されました。

第 1 部式典は、肥後 隆大会実行委員長の開会のことばにより始まり、中込 義昌大会会長による主催者のあいさつと続きました。

来賓あいさつとして福田 紀彦川崎市長、浅野 文直川崎市議会議長、斉藤 二郎社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会長の 3 名様よりご祝辞を頂戴した後、ご来賓の方々の紹介が行われました。ご多用の中、多くの方々にご出席頂きました。

来賓紹介

社会福祉法人ともかわさき 川崎市育成会
 手をむすぶ親の会副代表 宮澤 明様
 川崎市議会健康福祉委員会委員 8 名様
 川崎市健康福祉局障害保健福祉部長
 萩原 利昌様
 川崎市障害者更生相談所長 吉川 勉様
 川崎市中原福祉事務所長 蛭名 輝男様
 挨拶の中では、今回の大会スローガンになりました「障害者が安心して地域で暮らせる共生社会を目指そう」によりそい、「一緒に考えて行く」との協力の言葉を戴きました。

式典に続き、高津地区大島 定男議長より議事進行が始まり、越山 晴夫事務局長から 25 年度要望事項に対する経過報告があり、続いて 26 年度の川崎市に対する要望事項の提起に入りました。

要望事項

視覚 佐々木 成幸

自転車や歩行者の交通マナーについて、規制・指導および広報などの啓発活動の徹底、学校教育の充実を要望。

聴覚 京谷 暁

川崎市聴覚障害者情報文化センターの次期指定管理者の公募を「非公募」という方式で採用することを要望。併せて、手話通訳・要約筆記派遣事業の実績保障を要望。

肢体 石山 春平

障害者自身が利用できるスポーツ施設の市内中心地への早期設置を要望。

脳性 内藤 満

生活環境に配慮した施策の推進及び物理的バリアだけでなく心理的なバリアも解消すべく具体的な取り組みを要望。

脊損 北島 総美

ガソリン代の助成を要望。

オストミー 石綿 正男

「日常生活支援」事業の「オストメイト社会適応訓練事業」を川崎市への委託事業とするように神奈川県へ要求するよう要望。

難聴 野村 八重子

公共施設に磁気ループや情報保障機材の設置を要望。

腎臓 清水 誠

障害者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援を要望。

川身協 中込 義昌

障害者施設の指定管理は、「民間活用ガイドライン」を改正して、別途定める「指定管理者の選定等に関する要綱」による公募とするよう要望。

非常災害時に備え、一次避難所における要

援護者の受け入れ支援体制の充実と二次避難所（福祉避難所）への速やかな受け入れ支援体制の整備を要望。

各団体の提起が終わり第 2 部に移りました。

第 2 部 アトラクション

- ・車いすフラダンス「ナニプア・メリア」
肢体・脊損・片麻痺・知的等障害者 11 名
演目は「カノホナピリカイ」「カヒナノオブエ」「アロハオエ」の 3 曲を踊りました。



(車いすフラダンス)

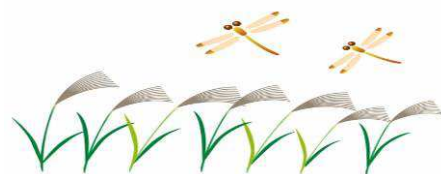
- ・大正琴「ステップ」
穏やかな琴の演奏による、懐かしい曲目
「みかんの花咲く丘」「手のひらを太陽に」
「瀬戸の花嫁」「故郷」
会場の皆様と楽しく歌いました。



(大正琴の演奏)

多くの方々の心をいただき今年も無事おわりました。「ありがとうございました」

(編集委員 鈴木 雅子)



川崎市内の障害者作業所紹介 川崎中部身体障害者福祉会館 『作業室こすぎ』

障害者日中活動センターとして、平成 18 年度から川崎市身体障害者協会が指定管理を受け運営をしています。

生活介護（17 名）就労継続支援 B 型（9 名）の方が通所して作業や機能訓練、健康管理、レクリエーションなどを提供しています。

《生活介護の作業》

キャンドルタワー、陶芸製品の自主製作
ふっきーちゃん&のびのびちゃん（セット）
製作、熊さんの人形を広げると雑巾に、ビーズの腕輪には鍵を付けると便利です。

《就労継続支援 B 型の作業》

パソコン作業（文書作成、テープ起こし、
名刺の製作カレンダー製作）

名刺は様々なロゴ入りや色刷りもできます。

【看護師による歩行訓練・ストレッチ・健康管理】

ご希望のある方には、NS と支援員がについての歩行訓練やベッドの上でストレッチも行っています。

定期的な血圧測定、体重測定、嘱託医による医療相談、健康診断も受けられます。



パソコンを使った文書入力や名刺作成、年末にはカレンダーも製作し販売しています。名刺は表裏のカラー印刷もできます。職場の皆様には是非お声掛け下さい。



キャンドルタワーやふっきーちゃん、のびのびちゃん、陶芸品を作って区民祭その他のイベントで販売をしています。可愛いグッズをプレゼント用はいかが！

年間行事

- 5 月 花と緑の市民フェアー
第 1 回日帰り旅行
- 6 月 中身館フェスティバル
- 10 月 中原区民祭
第 2 回日帰り旅行
- 12 月 川崎市民のつどい
クリスマス会
- 1 月 新年会・ボランティアさんに感謝のつどい

※ その他年間を通じて少人数の外出プログラムを行います。

※ ボランティア募集

利用者の作業をお手伝いしていただくボランティアや、外出プログラムや日帰り旅行に付き添っていただくボランティアを募集しています。（館長 鈴木）

所在地 中原区小杉御殿町 2-114-1
電話・FAX 733-9749
武蔵小杉(JR, 東急)駅から徒歩 15 分
東急バス(溝ノ口行き)小杉十字路下車 3 分

平成 26 年度 川崎市心身障害児者福祉大会が開催されました



（祝辞を述べる福田川崎市長）

平成 26 年 6 月 28 日（土）13 時より川崎市総合自治会館にて川崎市心身障害児者福祉大会が開催されました。

「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街」を大会スローガンに、第 1 部は式典、第 2 部は講演会が行われました。

第 1 部は、開会のことばにはじまり、本年度大会実行委員長・川崎市自閉症協会 あかし 会長の挨拶以下、福田川崎市長、飯塚市議会副議長、みうら 三浦社会福祉協議会常務理事から祝辞があり、来賓紹介の後、大会宣言が読み上げられました。

福田川崎市長は祝辞の中で、『今年度は、第 4 次ノーマライゼーションプランの策定の年となっています。あわせて、地域包括ケアシステムの基本方針を決めていくということで、

「すべての福祉関係の基本となる考え方」を「地域包括ケア」の基本方針の中に包括して、その中に、それぞれの福祉施策の計画をぶらさげていく、そういう大きな議論と整合性を合わせながらこれから進めてまいりたいと思っています。ぜひ、一緒のパートナーとして、これからもご指導いただければと思います』と話されました。

第 2 部は、川崎市健康福祉局障害計画課 かわしま 川島課長を講師に迎え、「川崎市の障害施策の動向」と題する講演会が行われました。

その中で、川島課長は、『市民や企業の皆さんに障害を理解していただき、心のバリアフリーを推進することで、障害者の住まいや雇用を含む日中活動の場の確保を広げていく』と話されていました。

「大会宣言」

本大会スローガンである“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”を実現するため、ここに集う方々とともに考え、より一層の努力をしていくことを誓い、次の事項をここに決議する。

1. 多様なニーズに対して、地域の中に多様な選択肢を広げること。

本年 1 月に批准した障害者権利条約第 19 条の「住みたいところで、住みたい人との暮らし」が可能になるためには、日ごろから社会参加の場が必要です。本人たちの生きる場の拡大、すなわち多様なニーズに合わせた「選択肢」を広げるとともに、親亡き後も安心して暮らせる施策の充実を求めます。

また、「福祉は人」です。特性を理解して支援できる感性、価値観、専門性をもった人材の育成を望みます。

2. 「隣に住んでもあたりまえ、隣に暮らしてもあたりまえ」の啓発を図ること。

障害のとらえ方が、医学モデルから社会モデルに転換されました。

障害特性に合わせた「合理的配慮」が、真の平等のためには不可欠と「障害者差別解消法」にあり、本人の望む暮らしを把握するためにも、「意思決定支援」が必要と障害者基本法、障害者総合支援法にも明文化されました。

しかし、これらは法律で述べられても、広く市民の方々に知っていただかなくては意味がありません。災害時の対応も、安心して避難ができる場の確保とともに、地域の方々の理解が不可欠です。

親の会としても、正しい理解と適切な支援を願い、啓発活動に力を注いでいきますので、ともに啓発活動の推進を図ってください。

平成 26 年 6 月 28 日

平成 26 年度川崎市心身障害児者福祉大会



(大会宣言を読み上げる明石実行委員長)

川崎市心身障害児者福祉大会とは、川崎市内の心身障害児者とその家族の地域福祉の向上を図ることを目的に、川崎市育成会手をむすぶ親の会、川崎市自閉症協会、川崎市肢体不自由児者父母の会連合会の 3 つの親の会が実行委員会を組織し、昨年度より開催しています。

(ともかわさき 事務局分室 安達 義春)

第 14 回全国障害者スポーツ大会 「長崎がんばらんば大会」

☆大会スローガン：

『君の夢 はばたけ今 ながさきから』☆

第 14 回全国障害者スポーツ大会が、諫早市長崎県立総合運動公園陸上競技場他 15 会場で平成 26 年 11 月 1 日(土)～11 月 3 日(月・祝)の 3 日間にわたり開催されます。

川崎市からは、選手 21 名(身体 10 名、知的 11 名)、役員 22 名(予定)が参加します。

今回の参加競技は、陸上(9 名)、水泳(5 名)、卓球(3 名)、フライングディスク(3 名)、ボウリング(1 名)の 5 種目です。

選手の皆さんは、代表選手選考会を兼ねた川崎市障害者スポーツ大会で、優秀な成績を収められた方々で、猛暑の中、大会に向かって強化練習を実施しています。

良い結果が出せますよう、皆さんの応援をよろしくお願いします！

(事務局 澤邊 俊文)

平成 26 年度 障害者レクリエーション教室が開催されました



(ヨガ・ストレッチ)

平成 26 年 6 月 28 日 (土) 川崎市リハビリテーション福祉センター体育館において、「平成 26 年度川崎市障害者レクリエーション教室」が開催されました。

この教室は、障害のある方もない方も一緒に楽しめるレクリエーションを広く紹介するとともに、障害者レクリエーションへの参加を呼びかけ、障害者の社会参加活動の推進を図ることを目的としており、原則川崎市内在住の、障害者手帳を所持する方及びそれに準ずる方を参加対象としています。



(スポーツ指導員の方々)

実施種目

[午前]

ヨガ・ストレッチ、ボッチャ、フライングディスク(アキュラシー5m・7m)、吹矢、ダーツ

[午後]

ショートテニス、FD ストラックアウト、輪投げ、グラウンドゴルフ、卓上カロリング



(輪投げ)

当日は生憎の天気で、参加者数は 15 名ほどでしたが、人数が少ない分、一つひとつの競技をじっくり楽しむ事ができたようです。



(グラウンドゴルフ)

また、手のあいたスポーツ指導員の方も競技に参加して、和気あいあいとした一日となりました。



(新種目、卓上カロリング)

会場内では、スタンプラリーが実施され、全種目分のスタンプを集めた参加者に、参加賞が進呈されました。今後の参加者の増加を図るために、新種目の採用が期待されます。

(事務局 澤邊^{きわべ} 俊文^{としひみ})

第 29 回 障害者による書道・写真コンテスト応募作品募集！

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会、全国身体障害者総合福祉センター主催で書道・写真コンテストが実施されます。奮ってご応募下さい。

応募資格

「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかの交付を受けている方、又は、難病による障害のある方。

但し、当コンテスト各部門において過去に 3 回以上入賞されている方は審査の対象外となります。

募集内容

①書道部門…

題材は自由です。（硬筆・毛筆とも可）

②写真部門…

- ・フリーの部（題材は自由です）
- ・ポートレートの部（人物を題材とした作品が対象となります）
- ・携帯フォートの部（携帯電話のカメラ機能を使ってご応募ください。題材は自由です）

※応募は各部門 1 人 1 作品まで（書道と写真双方の応募は可）です。

※写真部門は、フリーの部・ポートレートの部・携帯フォートの部から 1 つの部を選んで応募してください。

作品サイズ

①書道部門 半紙サイズ(約 33.3cm×24.0cm)

硬筆は A4 サイズ(約 21.0cm×29.7cm)

※毛筆・硬筆共タテ・ヨコ自由

②写真部門 四ツ切、ワイド四ツ切サイズ

※写真部門全てタテ・ヨコ自由
デジタルカメラ作品の場合は A4 サイズ(約 21.0cm×29.7cm)も可

携帯フォートの部は審査の関係上、画像サイズは VGA (640×480 ピクセル) 以上でご応募ください。応募方法は、応募用メールアドレス (contesto@abox3.so-net.ne.jp) への直接

ご応募となりますのでご注意ください。

メール本文にお名前・年齢・ご住所・電話番号・障害種別・作品タイトル・作品 PR・入賞時本名掲載の可否・入賞時障害掲載の可否を入力の上、作品を添付して送信して下さい。

携帯フォート以外の応募方法

応募用紙に必要な事項をご記入の上、作品を添えて（公財）川崎市身体障害者協会へご提出ください。一括して全国コンテスト事務局へ提出します。（用紙は川身協へご請求ください。戸山サンライズのホームページからも入手出来ます。

<http://www.normanet.ne.jp/~ww100006/contest29/contest29-application.pdf>)

※個人での全国への直接応募は審査の対象外となりますのでご注意ください。

※携帯フォートの部は応募方法が異なります。ご注意ください。

【応募作品の送付先】

川崎市障害者社会参加推進センター
（公益財団法人川崎市身体障害者協会内）
事務局 担当：澤邊（さわべ）
〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-8-6
TEL 044-246-6941 FAX 044-246-6943

応募締切

9 月 30 日までにご応募下さい。川崎市内の方の募集の取りまとめは川身協で行います。

【入賞作品の館内展示等】

全国障害者総合福祉センター館内において入賞作品の展示が行われます。

また、当センターホームページおよび情報誌「戸山サンライズ」に掲載されます。

【コンテスト全般に関するお願い】

◆ご応募いただいた作品の返却は原則としていたしません。

◆作品の製作年月日は問いません。但し、他のコンテスト等に未応募のものに限ります。

- ◆ご応募いただいた作品の著作権は製作者ご本人に帰属しますが、当コンテスト事業の一環として行う審査・審査結果の発表及び広報のための印刷・展示・放送（インターネットを含む）等における使用权は、全国身体障害者総合福祉センターに帰属するものとします。
- ◆作品は素材のみに限ります。パネル・額縁・表装等をした作品は審査対象外とさせていただきます。
- ◆公序良俗に反する表現につきましては、コンテスト事務局の判断で審査対象外とする場合がありますのでご了承ください。
- ◆ご応募いただいた方の個人情報にはコンテスト事務局が責任を持って保管し、当コンテスト以外の用途に使用する事はありません。

【コンテストに関するお問い合わせ先】

全国コンテスト事務局
〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1
全国身体障害者総合福祉センター
(戸山サンライズ) 内 コンテスト事務局
TEL 03-3204-3611 FAX 03-3232-3621
E-mail contest@abox3.so-net.ne.jp

※障害者社会参加推進センターでは、本紙へ掲載する作業所の紹介記事を募集いたします。

○テーマ：「川崎市内の障害者作業所の紹介」

○原稿字数：20 字×40 行～80 行 程度

写真やイラストも可

○原稿締め切り：常時受付け

○原稿ご送付方法：郵送・FAX・E-mail 等
先ずは、お問合せ下さい。

(詳細についてのお問い合わせ先)

川崎市障害者社会参加推進センター
(公益財団法人川崎市身体障害者協会内)
事務局 担当：澤邊 (さわべ)
〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-8-6
TEL 044-246-6941 FAX 044-246-6943
E-mail sawabe@mbr.nifty.com

編集後記

連日の猛暑が続くなか、毎日のようにニュースでは熱中症に気をつけるよう報道されております。あれほど日本が期待されたWサッカーは、残念にもグループリーグで最下位という結果となり、結局、決勝トーナメントは外国チームばかり観て楽しむ羽目になり、外国人の身体能力の高さに驚かされるばかりでした。

身体能力と言えば、サッカーであれだけ 90 分間も戦う為には相当なスタミナを消費します。日本では昔から「土用の丑の日」に、暑さに負けないようにウナギを食べて元気を付ける習慣があります。ウナギはスタミナ源の一つです。

しかし、先日のニュースでは、中国から日本に希少ウナギが大量に輸入されていることが発覚しました。絶滅の恐れがあるヨーロッパウナギは輸出を禁じられている。日本人はニホンウナギを美味しく食べているが、国際取引を禁止されているウナギが輸入されて日本としてはたいへん迷惑です。

時を同じく、中国から期限切れの肉製品がマクドナルドやファミリーマートなどに出荷されていたことも判明し、それはまさに中国製食品の信頼性を著しく損なう事件でした。

期限切れの材料を使うなど、とんでもない話しであり、「食べても死なない」などと言っている場合ではありません。金儲け主義を優先し、消費者の健康を軽視する風潮が背景にあることは間違いない。夏場のスタミナ源を、ヨーロッパウナギと期限切れ肉製品で賄うわけにはいかない。

人間が自然の中で生きするためのスタミナ作りは、健康のためには十分気をつけ、きちんとした物を食べて、この猛暑を乗り切りたいものです。



(編集委員 伊藤 實)
(頒価 100 円)